

住民説明会での主なご意見等について

高校再編推進室

令和4年7月下旬から9月下旬にかけて、「再編・整備計画【三次】(案)」に係る住民説明会を7地区で開催し、898名(旧第3通学区78名、旧第4通学区280名、旧第7通学区156名、旧第11通学区195名、旧第12通学区103名、旧第5・6通学区86名)の参加をいただきました。また、8月下旬より説明会で流している動画をユーチューブ「高校教育課チャンネル」に掲載し、10月末までアンケートを受付け710件の回答をいただいております。主なご意見等(アンケート記載含む)については、以下のとおりです。

「主なご意見等」は、原文の趣旨を尊重して文章を修正しています

項目	主なご意見等	県教育委員会の考え方
再編・整備計画【三次】(案)の全体説明に関すること		
学 び	<ul style="list-style-type: none"> これから学ぶ子どもたちが、自分の夢に向かって選択できる自由があるか、学ぶ意欲が湧いてくる教育カリキュラムを構築できるかにかかってくる。 一人ひとりを伸ばすことが不可欠な時代に、古い枠組みの中に子どもを押し込めるように思える。 オンライン教育による学びの環境づくり、不登校傾向のある生徒への対策、質の高い教育、多様性が保障される豊富な選択肢などを検討してほしい。 	貴重なご意見として、「新校再編実施計画懇話会」における意見交換や、新校の学校像の検討に活かしてまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> 自己負担で購入したオンライン用タブレットが、ほとんど活用されていない。 	タブレット等のICT機器を効果的に活用した授業を実践できるよう教員のスキルアップに向けた研修を実施しております。引き続き学びの充実に努めてまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> 再編対象校に限らず、学びの改革を進めてほしい。 再編対象校以外の学校も含め、全ての学校が魅力的なものになるよう、カリキュラム改革を進めて欲しい。 	引き続き、すべての県立高校で学びの改革を進めてまいります。
新校の 学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 教育機関の再編は必ず通らなければならない道。どのように良い学校を創るのか議論してほしい。 少子化が進む中で再編はあるべき姿。未来を担う若者が希望を持てる高校を作り上げて欲しい。 未来の子ども達への教育投資を一番に考え、充実した質の高い教育内容を備えた再編に繋げてもらいたい。 学校は子どもたちのもの。子ども第一の議論を要望。 魅力ある高校を創り、人を呼ぶことを考えてほしい。 高校卒業後さらに2年間程度続けて学べる5年制などの学習環境を整備できないか。 	貴重なご意見として、「新校再編実施計画懇話会」における意見交換や、新校の学校像の検討に活かしてまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> 10年先を見ている。20年30年先を見ることも必要と思う。 子どもの数以外の10年後をどのように捉えているか。 	VUCA(ブーカ)、Society5.0と言われ、今後更にその状況が進んでいくと考えられる時代にあって、中長期的な将来予測は、高校の将来像の検討においても大切であると認識しております。

項目	主なご意見等	県教育委員会の考え方
再編・整備計画【三次】（案）の全体説明に関すること		
学科等のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・私立高校や通信制高校の動向も加味して検討すべき。 ・普通科高校のあり方を議論すべき。 ・職業科の存続改編の議論と検討を十分にお願したい。 ・教育格差や進路が狭まってしまうことが学区ごとに起きないようにしてほしい。 	貴重なご意見として、今後の学びのあり方、高校配置等に活かしてまいります。
募集定員	<ul style="list-style-type: none"> ・再編対象校の募集定員を減じないでほしい。 ・県教育委員会が決める募集定員により再編対象校を追いこんでいる感じで、一方的。 ・地区の中学生が増えているため、近くの高校の数が減ってしまうと定員オーバーが心配。 ・通学区の募集定員の検討、見直しが必要ではないか。 ・流出を止めるために、隣接通学区の募集定員減が必要。 	募集定員は、旧 12 通学区ごとの中学校卒業予定者数や流出入の状況などを考慮して決定しており、再編対象校であることを理由に、あるいは、隣接通学区への流出を防ぐことのみを理由に募集定員を増減することはありません。また、将来の再編統合による高校数の減少により受検生が不利益を被ることがないように、十分に配慮してまいります。
環境整備 NSD (長野県スクールデザイン)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校がオープンになるような空間を。 ・学校の設備整備をきちんとしてほしい。 ・将来を担う子どもたちが学んでよかったと思える学校にしてほしい。 ・時代に合ったワクワクする学習空間に期待。 ・再編対象校以外の学校も含め、全ての学校が魅力的になるよう校舎整備を進めて欲しい。 	NSD に対して大きな期待が寄せられていると感じています。既存校も含め、NSD の理念の具現化を図りながら、学校施設の整備・充実に努めてまいります。
少人数学級等	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数学級導入に向け、更なる検討を。 ・40 人クラスでは教師の負担が大き過ぎる。ロッカーなど私物を置くスペースもなく密。 	少人数学級については、導入に係る課題もあるため、再編・整備計画とは切り離して、引き続き議論してまいります。
不登校等	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校経験や病気、障がいのある生徒が進学できる高校の受け入れ体制について知りたい。 	不登校や不登校傾向等の中学生及びその保護者を対象に高校進学説明会を開催し、抱えている不安を少しでも解消するように努めております。また、病気、障がいがあること等により高校進学に心配がある場合は、早い段階から中学校を通じて各高校に受け入れ体制等についてご相談ください。
教員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい学びのために教員も自己のスキルアップを望んでいると思うが、現場に余裕がない。 ・子どもの学習を支える先生方の指導力の向上を求む。 ・教員のスキルを相当上げるべき。 	現在、学校における働き方改革に取り組んでおりますが、引き続き教員が働きやすく、質の高い教育を実践できる環境を整備してまいります。また、総合教育センター等が企画する研修の充実を図り、指導力向上に繋げてまいります。

項目	主なご意見等	県教育委員会の考え方
再編・整備計画【三次】（案）の全体説明に関すること		
意見の反映と周知	<ul style="list-style-type: none"> 再編後の高校に入学することになる子どもの親世代との意見交換の場をつくり意見を伺うべき。 もう少しフランクな意見交換会を開催してほしい。 参加人数、周知等について適切な住民説明会だったのか検証してもらいたい。 県広報に案の解説、再編時の生徒となる小学校や中学校にチラシの配布があるとよいと思う。 9月以降も説明会を継続し、関心を高めてほしい。 	<p>コロナ禍の状況も踏まえ、ユーチューブ高校教育課チャンネルに、三次（案）の説明動画を令和4年8月に掲載しました。その視聴回数が、令和4年12月20日現在で、のべ6,600回を超えるなど、一定程度の周知はできたと考えています。また、中学校、受検される生徒・保護者の皆さんを中心に、統合に関する情報について、引き続き周知に努めてまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 住民説明会での意見により（案）の修正はありうるのか。 	<p>ご意見を一つ一つ精査して、再編整備計画に活かしてまいります。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画については賛成。 	<p>貴重なご意見として、参考にさせていただきます。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 再編前に高校受検する子ども達に不利な事はないか。じきに再編するからという理由で備品が更新されないなど、十分な教育をしてもらえなくなるのではと不安。 再編しない高校に受検者が集中することはないのか。 	<p>再編前に入学する生徒の皆さんが不安を感じたり、不利益を被ることがないように、万全を期してまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 三次（案）で再編対象校となっていない高校については、今後どうなるのか。 	<p>三次（案）が成案となった翌年度から「再編に関する基準」（三次（案）P.41）を適用してまいります。</p>
旧通学区に共通した事項		
新校	<ul style="list-style-type: none"> 計画は充分理解できます。計画の説明に十分配慮し、着実に進めて下さい。 生徒ファーストでお願いしたい。 	<p>説明責任を果たしながら、生徒の目線を大切に、着実に計画を進めてまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 高校再編は、丁寧に進めることは必要だが、少子化が急速に進行しているので、早期の実現に期待する。 新校再編実施計画懇話会に多様な方の参画を得ながら魅力的な学校づくりを目指してもらいたい。 地域住民、将来の生徒のために、積極的な検討により、スピード感のある計画実施をお願いしたい。 	<p>新校ごとに設置する「新校再編実施計画懇話会」における意見交換が丁寧かつスムーズに進むように努めてまいります。また、それぞれ貴重なご意見として、新校の学校像の検討に活かしてまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 学習、部活動を維持できる規模を確保してほしい。 	<p>貴重なご意見として、引き続き検討してまいります。</p>

項目	主なご意見等	県教育委員会の考え方
旧通学区に共通した事項		
新 校	<ul style="list-style-type: none"> 再編を進めると校内の学力の幅が広がると思うが、どのように考えるか。 通学範囲が広範囲にわたることになり、通学に係る費用の負担増や、通学時間増などの支障が出るのが考えられる。生徒の通学に関してはどのように考えるか。 交通の利便性や保護者負担の軽減を考えたうえでの案なのか。 高校が減ると通学にも時間がかかり過ぎ、高校数を減らすのは反対。 	<p>新校では現行の仕組みを最大限活用するとともに、オンラインや外部人材の活用等、可能な限り学びの個別最適化を目指してまいります。</p> <p>通学の利便性や通学費等も含め、様々な観点から高校の適正配置を考えることが大切であると認識しております。</p>
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの支援が必要な学校への加配をお願いしたい。 高校には、特別支援学級在籍経験のある生徒や発達障がいなどにより、多様な支援ニーズをもつ生徒が多く在籍している。安心して学べる環境づくりを要望する。 	<p>多様な教育的ニーズに応えるため、「通級による学び」を含め、個別の配慮や学びやすい環境づくり等について、引き続き進めてまいります。</p>
再編基準等	<ul style="list-style-type: none"> 再編整備完了よりも早期に、再編対象校の在籍生徒数520人以下が2年続いた場合は、その時点で募集停止になるのか。その場合は統合が早まるのか。 2030年の生徒減に耐えられるか。2036年に向けてさらに計画を考えなければいけない状況とを感じる。 	<p>再編対象校には「再編に関する基準」の適用はしないこととしています。2030年以降については現段階で決定していることはありませんが、少子化の状況等を踏まえ、今後、新たな検討が必要になると考えています。</p>
教員確保	<ul style="list-style-type: none"> 総合技術高校において、専門性を身に付けた教員の確保はどのようにするのか。 	<p>総合技術高校に限らず、高い専門性を有する教員確保は全国的な課題と認識しています。外部人材の活用等も含めて引き続き研究してまいります。</p>
中学生等への影響	<ul style="list-style-type: none"> 生徒、保護者、PTA や同窓会等が不安を持たないように対応をお願いしたい。 今回再編される学校名が公表されたことにより、その学校への現中学生の受検回避が懸念される。今以上に中学生・保護者への説明をお願いしたい。 	<p>再編対象校への受検等に不安や心配がないように、様々な場面で説明を尽くしてまいります。また、統合前に再編対象校において学ぶ生徒が不利益を被ることがないように、責任を持って対応してまいります。</p>
公立高校・私立高校	<ul style="list-style-type: none"> 私立高校は定員を多く設定し、公立高校の学級減の原因となっているのではないかと。その対策はどうか。 	<p>公立高校と私立高校の定員比率は、公私立高等学校連絡協議会において決定しており、私立高校の定員が公立高校の学級減の原因ということはありません。県立高校は公教育としての役割を大切に、生徒の皆さんのための学校づくりを目指してまいります。</p>

項目	主なご意見等	県教育委員会の考え方
旧通学区に共通した事項		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化対策に力を入れないと同じ問題を抱えていくことになる。 	<p>貴重なご意見として、知事部局とも課題を共有いたします。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した学校作りのため、十分な予算確保を願いたい。 	<p>努力してまいります。</p>
旧第3通学区の個別事項に関すること		
長野東スーパーフレックス新校	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学びを希望する生徒が増えている中で長野東スーパーフレックス新校の学校像に大いに期待する。 	<p>生徒の希望が叶うような新校の学校づくりに努めてまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・長野東は交通の便が悪い。 	<p>生徒の通学に支障のないように時間割等を工夫するとともに、公共交通の充実について関係機関に働きかけてまいります。</p>
高校配置	<ul style="list-style-type: none"> ・大人数の教育についていかれない子どもたちや学び直しを真剣に考えている子どもたちの受け皿は確保してほしい。 	<p>少人数による教育や学び直しの重要性は認識しています。可能な限り、そのような学びの場の確保に努力してまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・定時制は様々な事情がある生徒が多いことから、1つに集約しない方がよい。 	<p>多様な教育的ニーズに応じた学びを可能とする環境の実現には、一定程度の規模の学校も必要と考えています。</p>
旧第4通学区の個別事項に関すること		
長野千曲総合技術新校	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい総合技術高校に期待する。 ・総合技術高校の学校規模はどれくらいか。 ・総合技術高校に普通科があってもよいのではないか。 ・工業系の学科があってもよいのではないか。 ・総合技術高校を目指すのであれば、これからの社会情勢に対応するスキルの習得ができる分野があるとよい。 ・交通の便の良い屋代南高校での学びの保障を望む。 ・屋代南高校の普通科をデジタル系の新学科に転換するのであれば屋代南高校の校地で学ぶことが、その理由に合致する。 ・新校は更級農業高校の校地に建ててほしい。 	<p>県教育委員会が考える新校のイメージ例は、三次（案）にお示ししたとおりですが、具体的な新校の姿や募集学級数、活用する校地、設置する学科等については、三次（案）が成案となった後に新校ごとに設置する「新校再編実施計画懇話会」の意見交換を踏まえて決定してまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・皆にいきわたる学習ができる場も必要。大きなところにまとめることだけが良いことではないのではないか。 ・総合技術高校に多数のキャンパスがあってもよいのではないか。 	<p>総合技術高校は、そのコンセプトに鑑み、一つのキャンパスにまとめ、一定程度の規模とすることが望ましいと考えています。</p>
松代高校	<ul style="list-style-type: none"> ・松代高校を魅力的な普通高校にしてほしい。 ・松代高校には普通科と商業科が必要。 	<p>普通科高校となる松代高校の具体的な学校像は、地域のご意見を伺いながら学校を中心に検討してまいります。</p>

項目	主なご意見等	県教育委員会の考え方
旧第4通学区の個別事項に関すること		
隣接通学区との流出入	<ul style="list-style-type: none"> ・流出入を踏まえて、旧第3通学区と旧第5通学区との整合性を持って計画を立案したのか。 	旧第4通学区の再編計画は、少子化の状況、隣接する旧第3、5通学区との流出入の状況、中学校ごとの現在の高校別志願状況などを踏まえ、策定したものです。
高校配置	<ul style="list-style-type: none"> ・市を跨ぐ統合に意見は多いだろうがおおむね賛成。 ・長野市内の高校が1校も減らされることなく千曲市の学校が減らされてしまうことに納得がいかない。 ・旧第4通学区でどこの学校も減らしてもらいたくない。 ・自治体間のバランスの考慮が必要。 ・松代町と千曲市の中学校生徒数を比べた時、千曲市の方が何倍も多いため、再編案を再度検討してほしい。 	再編計画案は、旧第4通学区全体を見渡し、適正な配置を考え、お示ししたものです。長野千曲総合技術新校（仮称）の校地は「新校再編実施計画懇話会」の意見交換を踏まえて決定しますが、市町村を跨ぐ統合となるので、地域の皆様と丁寧に合意形成しながら、慎重に進めてまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・松代高校と、多部制・単位制が設置される長野東高校は交通の便が悪い。通学の利便性を考えてほしい。 ・高校生の通学、保護者の負担軽減の両面で鉄道は重要。屋代高校、屋代南高校、坂城高校が有効活用できるよう、適正な配置の見直しを求める。 ・松代高校へ通うには、道路が狭いため自転車事故の心配がある。また、バスの本数を増やした方が良い。 	高校配置については、旧第4通学区全体を見渡し、鉄道沿線ばかりに高校が配置されない計画としました。また、通学については、バスを利用する高校生の利便性が少しでも向上するよう関係機関としっかりと協議してまいります。
旧第7通学区の個別事項に関すること		
岡谷新校	<ul style="list-style-type: none"> ・国際色豊かな高校など、建物やカリキュラムで競争力を備えた常識にとられない学校づくりをしてほしい。 ・岡谷東高校と岡谷南高校の統合が必要なのか。 	岡谷市に、一定規模の普通科高校を配置することが適切と考えています。また、新校の学校像は、新校ごとに設置する「新校再編実施計画懇話会」における意見交換を踏まえて決定してまいります。それぞれ貴重なご意見として参考にさせていただきます。
岡谷諏訪総合技術新校	<ul style="list-style-type: none"> ・工業、商業、家庭科の特色が活かされるとともに、既存の施設を有効活用して、活性化することに期待。 ・岡谷技術専門学校との連携も視野に入れてほしい。 	新たにデジタル系学科の設置等も検討するなかで、既存施設の有効活用や他校との連携等も図りながら魅力ある学校づくりを目指してまいります。

項目	主なご意見等	県教育委員会の考え方
旧第7通学区の個別事項に関すること		
茅野富士見 新 校	<ul style="list-style-type: none"> ・新校は諏訪東京理科大学との連携が鍵となるのではないか。 ・維持管理費がかさまないコンパクトな計画を期待。 ・学校像として幼保小中高大が連携した学びが挙げられているが、具体的にどの学校と、どのような連携をイメージされているのか。 ・富士見高校と茅野高校の統合のイメージがわからない。クラブ、学校行事等や富士見フィールドへの移動はどうか。 ・農業と林業に特化した学校にしてほしい。 	<p>学校像がイメージしにくいことは課題と感じています。新校の具体的な学校像については、新校ごとに設置する「新校再編実施計画懇話会」における意見交換を踏まえて決定してまいります。それぞれ貴重なご意見として、新校の学びの参考にさせていただきます。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・サテライト校、地域キャンパスとフィールドとの違いや考え方を具体的に示してほしい。現行とどう変わるのか。 	<p>サテライト校は、通信制の本校から遠隔地に住む生徒が、近距離でスクーリングができる学習センターを指し、地域キャンパスは、1クラス募集の分校を指します。富士見フィールドは富士見高校の農地等を活用して農業を学ぶ学習フィールドであり、茅野フィールドはそれに対応した呼称です。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・富士見高校は町にとって欠かせない存在。農業科のみとするなどしても、今の規模で残すべき。 	<p>諏訪地域全体を見渡したときに、富士見町で農業の学びを行うことが適切であると考えております。新校の具体的な学校像については、新校ごとに設置する「新校再編実施計画懇話会」における意見交換を踏まえて決定してまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・富士見高校の農業の学びは、岡谷諏訪総合技術新校と一体で考えることが適切ではないか。 	<p>総合技術高校は、一つの校地を原則としており、富士見高校農業科を岡谷諏訪総合技術新校の計画に組み入れることは、校地・農地等の点で困難であると考えています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの農業は、工業や商業、ICT などの知識が必要となると考えられる。 	<p>これからの農業は、ICT との関連付けが重要と考えており、岡谷諏訪総合技術新校との連携も含め、新校の学校像の検討に活かしてまいります。</p>
特別支援 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・富士見高校には諏訪養護学校の分教室が設置されており、両校の生徒にとって教育的効果が大きいと考えられる。引き続き存続させてほしい。 	<p>分教室が担う役割の重要性や、教育効果については十分認識しています。分教室を含む特別支援教育がさらに充実したものとなるよう検討してまいります。</p>

項目	主なご意見等	県教育委員会の考え方
旧第7通学区の個別事項に関すること		
高校配置	<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪地域での多部制・単位制高校の設置を検討してほしい。 ・茅野高校、富士見高校は、多様な子どもたちが通う役割を担っていることを忘れないでほしい。 	<p>貴重なご意見として、新校の学校像の検討に活かしてまいります。</p>
高校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・再編・整備計画に該当しない高校がどんな特色を持つていくのか、地域全体でデザインしていかなければならない。 ・諏訪地域から他地区への流出は何らかの原因があること。学校に求められていることを拾い上げて今後の検討してほしい。 ・進学校の充実に、より積極的に取り組んでほしい。 	<p>再編統合校、既存校のいずれについても、中学生の皆さんが通いたいと思うことのできる魅力ある高校づくりを、地域の皆さんとともに進めてまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・再編統合校に学力差がある。現在、学力などにより高校を選んでいますが、統合後の学力をどちらに合わせるか。 ・大学進学を目指せる高校になるのか。 	<p>再編統合校は、いわゆる「偏差値」がどうなるかということより、「学びの中身」とその「コンセプト」を地域の皆様にしっかりお伝えしていくことが大切であると考えています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪地域の新校は、3校同時に開校してほしい。 ・懇話会では様々な方の意見をしっかりと反映させてほしい。 	<p>新校の開校年度等は、新校ごとに設置する「新校再編実施計画懇話会」における意見交換を踏まえて決定してまいります。それぞれ貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>
旧第11・12通学区の個別事項に関すること		
塩尻総合学科新校	<ul style="list-style-type: none"> ・塩尻市のDX関連資源を有効に活用することで、地域の担い手を育成し、産業の活性化や事業の継続ができるようにしてほしい。 ・都市計画や人材育成の視点も大切にして進めてほしい。 ・学校の設置場所によって通学のための交通機関の確保が必要と思う。 	<p>新校の学校像は、新校ごとに設置する「新校再編実施計画懇話会」における意見交換を踏まえて決定してまいります。それぞれ貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学科に普通科を併設できないか。 ・総合学科高校からの大学進学は大丈夫か。 ・普通科のニーズは高いので、普通科の課程を維持してもらえるのか。 	<p>総合学科においては、個々の希望進路に合わせた科目選択が可能なため、普通科と同様に大学進学を目指すことができます。今後も、普通科目もしっかりと学ぶことのできる総合学科について理解を深めていただけるよう努めてまいります。</p>

項目	主なご意見等	県教育委員会の考え方
旧第 11・12 通学区の個別事項に関すること		
安曇野 総合技術 新 校	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との共学共創プラットフォームを、ぜひ創って欲しい。 ・地域性を考えて欲しい。高校は地域の中心。 ・地域とのつながりが、エリアの広がりによって薄れていくのではないか。 	<p>専門高校は地域産業に欠かせない役割を果たしており、新校が掲げる「地域」は再編統合校それぞれを包括した「地域」になるものと考えます。共学共創プラットフォーム構想を含め、より良い学校を創るため、地域の力をお借りしたいと考えています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の農業を担う人材育成をお願いしたい。 	<p>新校では、地域の農業を理解し、大切に思う人の育成を目指してまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・デュアルシステムは新校でも構築できるのか。 	<p>デュアルシステムをはじめ、各校の先進的な取組を新校に継承し、発展させてまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・総合技術高校設置は良い。 ・なぜ、職業校だけの再編統合なのか。 ・時期尚早である。職業高校の統合には反対。 	<p>総合技術高校は、今後の産業構造の変化に対応可能な、学科の枠を越えた学びも構築できる、持続可能性に富んだ専門高校と考えています。少子化の進展等を考慮すると、今、再編するという決断が必要と考えています。</p>
校地等	<ul style="list-style-type: none"> ・校地選定が地域分断を招く恐れが否めないので、慎重に進めるべき。 ・通学区を跨いだ計画では多くの困難も予想されるが、少子化と学びの変化に柔軟に対応できる学校を早く立ち上げ、将来の子どもたちが安心して学べる環境を作ることが要望。 	<p>新校の校地等については、新校ごとに設置する「新校再編実施計画懇話会」における意見交換を踏まえて決定してまいります。特に旧通学区を跨ぐ統合校は生徒募集定員や校地などに十分留意して進めてまいります。</p>
再編計画	<ul style="list-style-type: none"> ・長年の伝統ある学校を守りたいという方々の想いも理解できるが、少子化や教員確保等の面を考えて子どもたちにとってよい学びの場を提供するために再編は避けられない。スケールメリットは必要。 ・できるだけ速やかに計画を進めてください。 	<p>地域の理解を得ながら、生徒にとって真に必要な高校となるよう、責任を果たしてまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・松本南部や塩尻の子どもは、明科高校や豊科高校への進学が困難である場合が多く、田川高校の存続を検討してもらいたい。 	<p>塩尻市に一定規模の都市部存立普通校の設置が適切と考えています。貴重なご意見として承ります。</p>

項目	主なご意見等	県教育委員会の考え方
旧第 11・12 通学区の個別事項に関する事		
再編計画	<ul style="list-style-type: none"> 松本、塩尻にも中高一貫校が設置されてもよいのではないか。 	<p>現在、屋代高校、諏訪清陵高校に併設型の附属中学校を設置しています。第 1 期長野県高等学校再編計画まとめと課題の整理（令和 3 年 3 月公表）において、併設型の中高一貫校は、現行の 2 校体制を維持することが適切との見解をお示ししているところです。</p>
定時制・通信制課程に関する事		
専門学科の普通科への転換	<ul style="list-style-type: none"> 定時制普通科は上田高校に残してもよいのではないか。 上田千曲高校定時制工業科の普通科転換は必要か。 上田地域には製造業が多い。上田千曲高校全日制的機械系学科が 1 クラス減ったため、定時制に機械科が残ってもよいのではないか。 	<p>定時制への志願状況やニーズの変化を踏まえると、一定程度の定時制の集約と専門学科の普通科への転換を適切に進めることが必要と考えています。上田千曲高校定時制は普通科転換後も工業科目の設置や全日制工業科との連携が可能です。</p>
東御清翔高校への夜間部設置	<ul style="list-style-type: none"> 夜間部の充実を、全日制と同様に早急に進めてほしい。 夜間部設置に伴う施設整備についてどう考えるか。 東御清翔高校設立当初、当分、夜間定時制は設置しないとの県の立場を変更した理由が不明確。 	<p>東御清翔高校に夜間部を設置することにより、多様な生徒の生活・学習スタイルに柔軟に対応してまいります。また、夜間部の学びに必要な施設・設備は、必要性を吟味したうえで適切な整備を進めてまいります。</p>